

プラス  で、未来をともに。



地域密着型金融の取り組み状況  
(2025年3月期)

2025年10月



京葉銀行

---

○地域密着型金融の推進に関する取り組み	・ ・ ・ ・ 2
○地域経済・社会への取り組み	・ ・ ・ ・ 6

# 地域密着型金融の推進に関する取り組み

## 中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取組状況

### 地域密着型金融に関する基本的な考え方

当行は、『プラスαの価値を提供し、地域の豊かな未来をともに築く』という企業理念のもと、グループ一体となり、お客さまの課題を発掘し、解決策の提示と実行支援に取り組む営業に努めています。今後も、お客さまの経営課題の解決へ適切なソリューションを提供することで、地域経済の発展に積極的に貢献してまいります。

### 中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

お客さまのさまざまなニーズ・課題にお応えするため、営業店、本部、グループ会社、外部機関などと連携し、最適なソリューションを提供する態勢を整備しています。



### 中小企業の経営支援に関する取り組み状況

さまざまなライフステージ（創業期・成長期・安定期・低迷期・再生期）にあるお客さまのニーズ・課題に応じた、円滑な資金の供給や最適なソリューションの提供を行っています。

2025/3	全与信先*	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
与信先数	22,374先	1,145先	2,057先	8,202先	558先	2,451先
融資残高	24,376億円	776億円	2,942億円	11,639億円	703億円	2,276億円

※全与信先とは、法個人の事業性貸出金の総数を指します（5期分の決算データがない先は除く）

#### 創業期

創業を検討されている方や創業間もない方を対象に、千葉県産業振興センター（よろず支援拠点）と連携を図り、個別に相談できる機会を提供することで、事業者さまの創業時に抱える疑問や悩みを解消するとともに、金融機関の立場から経営支援を行っています。

	2025/3
当行が関与した創業の件数	656件
当行が関与した第二創業の件数	0件

成長期、安定期

金融仲介機能を発揮した成果として、お取引先企業との対話を通じた事業性評価による資金供給と本業支援の取り組みが着実に増加しています。

			2025/3	
	2023/3	2024/3	2025/3	
事業性評価に基づく融資を行っている与信先数	11,679先	11,781先	12,347先	M&A支援先数
ソリューション提案先数	10,858先	11,845先	13,054先	事業承継支援先数
			2025/3	
			166先	
			276先	

低迷期、再生期

経営改善や事業再生が必要なお客さまに対して、営業店・本部・外部専門機関・政府系金融機関などと連携し、多様な事業再生スキームを提案しています。中小企業診断士等の資格を有する行員がお取引先企業との面談を通じて、経営改善計画の策定から達成に向けたフォローまでサポートすることで、専門性の高い経営改善支援や抜本的な事業再生支援に取り組んでいます。

			2025/3	
貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況*			好調先	283先
			順調先	288先
			不調先	195先

※売上高、経常利益のいずれかの改善率が120%超が好調先、80%～120%が順調先、80%未満が不調先

「経営者保証に関するガイドライン」への対応

「経営者保証に関するガイドライン※」の趣旨を踏まえ、経営者の保証に依存しない融資を一層促進するとともに、既存の融資についても同ガイドラインで示された保証契約のあり方に基づく適切な対応に努めています。

■ ガイドラインを踏まえた取組状況

項目	2023年度	2024年度
新規に無保証で融資した件数	5,210件	5,651件
保証契約を変更・解除した件数	294件	373件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	42.1%	46.0%

■ 事業承継時におけるガイドラインへの取組状況

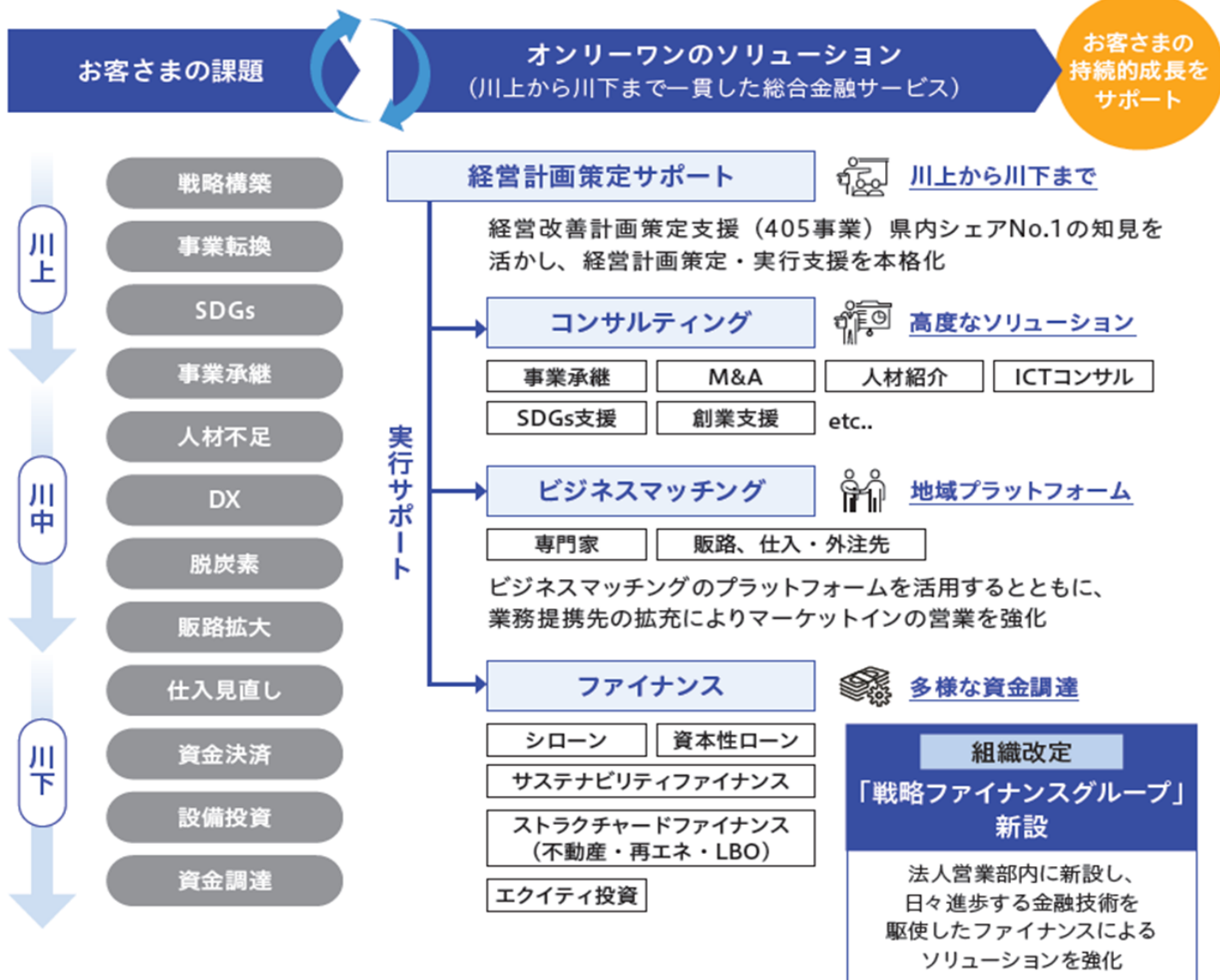
項目	2023年度	2024年度
代表者交代時において、旧経営者との保証契約を解除し、かつ、新経営者との保証契約を締結しなかった割合	8.7%	16.1%
代表者交代時において、旧経営者との保証契約を解除する一方、新経営者との保証契約を締結した割合	46.0%	55.3%
代表者交代時において、旧経営者との保証契約は解除しなかったが、新経営者との保証契約は締結しなかった割合	42.2%	26.6%
代表者交代時において、旧経営者との保証契約を解除せず、かつ、新経営者との保証契約を締結した割合	2.9%	1.8%

※中小企業・小規模事業者等の経営者による個人保証について、保証契約を締結する際や、金融機関等の債権者が保証履行を求める際における、中小企業・小規模事業者等、保証人、金融機関等の自主的なルールを定めたもの

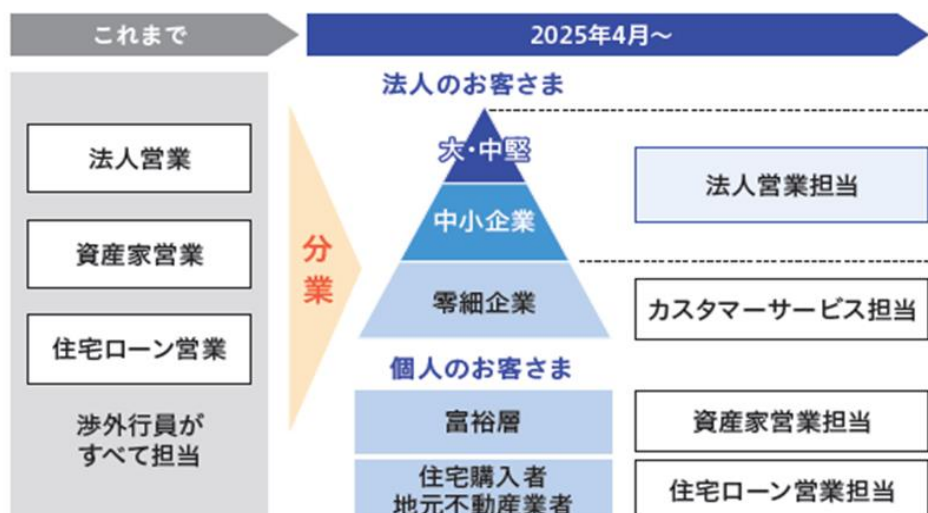


# 法人ソリューション

当行グループでは、法人のお客さまの課題に対し、川上から川下まで一貫した総合金融サービスを提供することで、付加価値の高い金融サービス、オンリーワンの課題解決型営業へつなげてまいります。



渉外行員の業務から資産家営業と住宅ローン営業を分離し、法人営業に特化する、分業制を導入しました。これまで以上に法人のお客さまと向き合う時間を確保するとともに、対話を深め、お客さまの課題を共有し、解決に向かって伴走支援していくほか、より専門性を高めた人材が、当行ならではのカスタマイズサービスを提供してまいります。



## お客さまとのリレーション強化への取り組み

### 経営計画策定サポート

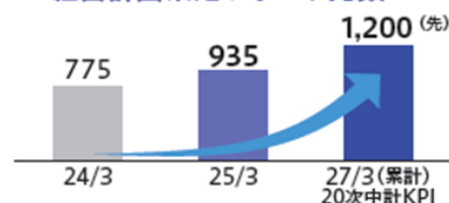
お客さまの経営改善計画策定支援（405事業）において、県内シェアNo.1の知見を有しています。また、グループ会社の京葉銀キャピタル&コンサルティングとの連携による経営計画策定支援を開始するなど、お客さまのさらなる成長につながるよう、伴走支援してまいります。

経営改善計画策定支援  
(405事業)2024年度実績



### サステナビリティKPI

#### 経営計画策定サポート先数※1



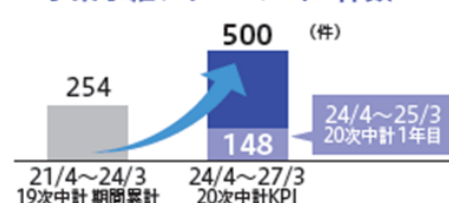
※1 経営改善計画を含む経営計画策定支援先数

### 事業承継・M&Aサポート

社会課題である後継者不足への対応を強化するため、外部機関への派遣や本部専門チームの増員を行っており、お客さまに最適な事業承継ソリューションを提供しています。また、LBOローンやファンドを通じたエクイティ投資を拡大することで、地域経済の成長と雇用維持・拡大を支援してまいります。

### サステナビリティKPI

#### 事業承継ソリューション件数※2



※2 事業承継、M&A支援先数

### 資金調達サポート

取引先企業のライフステージにおけるさまざまな課題にお応えするため、多様な資金調達の手段を提供しています。2025年5月に京葉銀キャピタル&コンサルティングと共同で、事業承継2号ファンドおよび、当行グループ初となるスタートアップファンドを設立するなど、社会課題解決を志す企業へのエクイティ投資を通じ、新たなビジネスモデル創出を支援してまいります。

### 2025年5月に新設したファンド

事業承継2号ファンド  
(ファンド総額25億円)

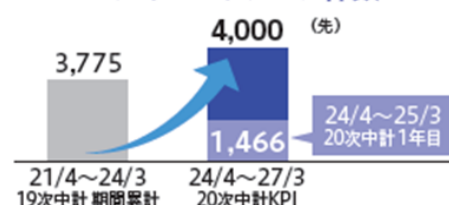
スタートアップファンド  
(ファンド総額10億円)

### ビジネスマッチングサポート

法人営業部内にビジネスマッチング専担者を配置し、お客さまの潜在的なニーズや課題に対して最適なソリューションを提案するため、能動的なマッチングに注力しています。引き続き、課題解決や新たな取引先開拓につなげるため業務提携先の拡大に努めてまいります。

### サステナビリティKPI

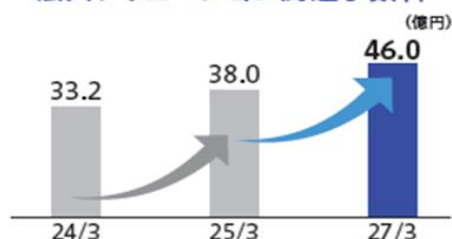
#### ビジネスマッチング件数



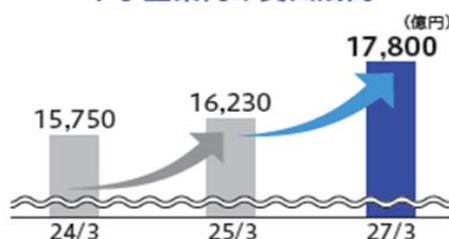
## 当行ならではのカスタマイズサービス提供の効果

経営計画策定を起点に、高度なソリューションや多様な資金調達の手段を提供するとともに、ビジネスマッチングの機会を創出することで、お客さまの持続的成長をサポートしてまいります。

### 法人ソリューション関連手数料



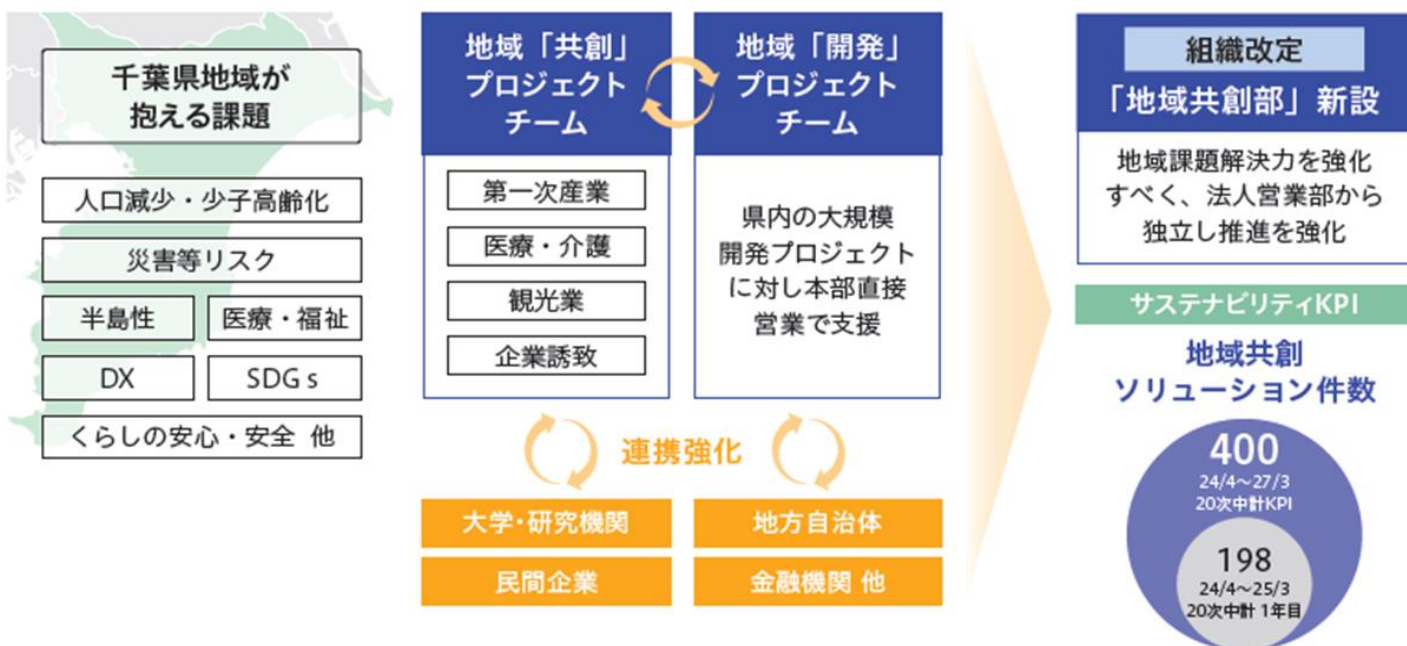
### 中小企業向け貸出残高





# 地域経済・社会への取り組み

まちづくりの視点で地域社会とのリレーションを強化することで、魅力のあるまちづくりに貢献してまいります。



## 第一次産業支援の取り組み

### 日本酪農発祥の地である千葉県の魅力を国内外へ発信

お客さま同士のビジネスマッチングを目的とした商談会へ積極的に参加し、全国から集うパイヤーを紹介するなど、株式会社須藤牧場の販路拡大を支援しました。当社は、国内でわずか数%の希少な乳牛を飼育し、この牛から採取したミルクや加工品を販売しているほか、通常は複数の乳牛から採取したミルクを混ぜ合わせるところ、乳牛1頭ごとに採取したミルクをボトルへ充填し販売する取り組みも行っております。こうした良質で手間を惜しまない独自性に富んだ製品に関して、国内での販売先のみならず、国外での販売を行う事業者の紹介も行いました。

今後も牧場などの一次産業の持続可能な経営に向けた支援を行い、地域経済活性化につなげてまいります。



## 医療・介護の取り組み

### 四街道市と高齢者支援に係る連携協定を締結

「地域の高齢者支援」という課題を共有するため、四街道市内にある地域包括支援センターの職員と当行行員による共同勉強会を開催したほか、同センターによる行員向け「認知症サポーター養成講座」を受講するなど連携を深めてまいりました。こうした活動を継続・発展させ、地域の高齢者支援に関して、さらなる体制強化を図るため、2024年12月、「高齢者支援に係る連携協定」を締結しました。

同市の地域包括支援センターと緊密に連携しながら、高齢者が「長く、健康に、安心して暮らせる」地域社会づくりを目指してまいります。





## 観光支援の取り組み

### 佐原商家町ホテルNIPPONIAの開業を起点に来場者数※累計10万人達成

佐原信用金庫とともに出資している観光まちづくり会社、株式会社NIPPONIA SAWARAを通じて、香取市佐原地区の歴史的な資源を活用した地域振興に、継続的に取り組んでいます。

2018年3月、客室数4室から開始した古民家ホテルが、現在は14室まで拡大したほか、レストランやバンケット等もオープンするなど、街に賑わいをもたらす事業をサポートした

結果、香取市佐原地区への来場者数※が累計10万人を達成しました。また、佐原地区で起業する事業者向けに、宿泊施設YATA棟の一部を改装し店舗として提供するなど、スタートアップ支援も行いました。今後も、同地区の魅力向上と観光関連産業の活性化をサポートしてまいります。

※ 2018年3月以降の宿泊施設、レストラン、バンケット等の利用者数



## 企業誘致の取り組み

### 千葉県内の地域開発情報を収集し、千葉県外から企業を誘致

各自治体などと連携し地域の開発情報の収集に努めるとともに、企業の事業拡大や移転などのニーズも積極的に収集しています。千葉県外に本社を構える企業の千葉県内への進出ニーズを捉え、交通アクセスが良好な千葉県北西部への大型物流施設の建築計画を支援しました。

千葉県は東関東自動車道をはじめ、常磐自動車道や京葉道路、国道16号など主要な道路に囲まれ、首都圏への広域配送にも適した立地であります。この恵まれた環境を活かし、県内企業の事業拡大支援に留まることなく、県外からの企業誘致を推進することで、誘致地域周辺の住宅需要の高まりや雇用確保など、新たな“企業”や“人”の流れの創出を後押ししてまいります。

## 連携強化の取り組み

### 「地域活性化起業人制度」を活用し、当行職員を栄町へ派遣

栄町と締結した包括連携協定に基づき、2025年4月、総務省が推進する「地域活性化起業人制度」を活用し、当行職員を栄町に派遣しました。同町では、若い世代の人口流出や出生率低下に歯止めをかけることが課題となっている中、今後、成田空港のさらなる機能強化は、新たな雇用創出の機会となり、働き手の居住地として成田市に隣接する同町の人口増加が見込まれております。当行は職員派遣を通じて、同町がより一層推進する定住・移住に関する重要政策について調整・推進支援を行い、持続可能なまちづくりに積極的に取り組んでまいります。

